

定期の外部審査を受審しました

今年のマネジメントシステム外部審査は、9月11、12の2日間で行われました。品質システムが定期、環境と労働安全衛生の両システムが、更新のための再認証審査でした。

筆者が審査員の遠藤氏をエスコートした先は、木古内町の自動車道建設工事サイトです。

以前、本社内外を「オフィスツアー」と称して、著しい環境側面や危険源が適切に抽出されているかを確認されたことがあります。このサイトでは協力会社の職長さんが、品質・環境・労働安全衛生についてどのようなコミュニケーションがとられているかをインタビューされていました。職長さんは、KYや朝礼、翌日の工程打合せ、施設の点検などを歯切れ良く受け答えしていました。

このサイトでは是正を指摘される事柄はありませんでしたが、1点の改善指摘がありましたので水平展開の意味で紹介します。

それは、「廃棄物処理法施行規則」の第8条に、産業廃棄物保管基準というものがあり、“廃棄物の種類ごとに表示板を掲げなさい”ということです。建設発生土や伐根、伐木に表示することは行われていますが、処理業者が設置して行く分別カゴにも表示の必要があります。

なお、表示板のサイズは縦横それぞれ60cm以上と、寸法も定められています。

なお、再認証の判定委員会は、10月26日に行われるそうです。

全国労働衛生週間のパトロール

全国労働衛生週間の2日、社長は市内の3ヶ所の施行地をパトロールしました。うち2件は深礎工と立坑の掘削作業があり、酸素欠乏の危険有害要因が懸念されるところです。

送風機への供給電源確保並びにキャブタイヤケーブルの保守点検と、降雨時に備えたプラグの防水対策が必須となります。

いずれの工事も当初設計からの変更を余儀なくされています

が、発注者とのコミュニケーションを良好に保った上での進捗管理を行うよう、アドバイスを送っていました。

写真は、中村課長が施工管理している外環状道路東山工区の深礎工施工箇所での巡視状況です。



職長さんへのインタビュー



工事管理者への審査の様子



安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成27年10月15日
http://www.tonuma.com/
第212号

幸連川橋作業所でキャリア教育

このたび、函館江差自動車道木古内町幸連川橋作業所で、地元の小学生を招いてキャリア教育が催されました。以下は監理技術者の畑中課長から寄稿されたレポートです。……

【静かに登るクレーンに取付けたスカイボックスの中で、子供たちはひととき大きな歓声を上げた】

9月24日、木古内小学校6年生27名がキャリア教育の一環として、現場見学に訪れました。

高さ20mを越える足場に子供たちを登らせるために、外側の安全ネットはもちろん、内側にもネットを取付け、安全対策を万全に整えて当日に臨みました。

工事概要を説明した後安全ベスト体験、工事現場クイズなどを行い、いよいよ「幸連川橋足場攻略作戦」が開始されました。

足場登り口では、赤外線センサーにより人が通ると注意喚起する「トークナビ」が試合開始の合図を送りました。『頭上に注意して下さい』

順調に中間部に設けた中間展望台を一周し、ついに最上階まで到着した子供たちが、安全ネットを見上げると、そこにはなんと……クレーンに取付けた、スカイボックスに乗り込んだ同級生たちが、さらに高い位置から子供たちを見下ろしていました。子供たちが無事に現場体験を終えて、一人でも建設関係に興味を持ってもらえれば、将来の建設業にも、明るい兆しが見えて来ると、実感しました。



畑中課長には、多忙な施工管理業務の中、拝み倒してレポートをお願いしました。

スカイボックスに乗り込んだ子どもたちの表情がいいですねえ。



“健康セミナー”を開催しました

10月1日からの「全国労働衛生週間」にちなみ、9日に“健康セミナー”を開催しました。

春の定期健康診断の結果、有所見率が比較的高く、このまま放置できないという観点からの開講です。

当日は函館市保健福祉部の小園さんをお招きし、「生活習慣病の予防と中高年の健康づくり」をテーマに話していただきました。血中コレステロールが脳の血管に及ぼす影響や、タバコと心疾患との関係、過度な飲酒による内臓脂肪の蓄積等々、食生活の改善と適度な運動で、体質を大きく改善できることを示して下さいました。



尋問？いや血管年齢の測定中

アルコール由来のカロリー消費についての場面では、大いに会場が盛り上がりましたが、基礎代謝（じっとしていても命を維持するための必須エネルギー）と仕事の内容にもよりますが、摂取カロリーの総量とのバランスを考慮すれば良いのではないのでしょうか。

講演に先立ち、参加者全員の血管年齢も計っていただきましたが結果はいかがでしたか？ なお、会場は函館信用金庫亀田支店さんに提供していただきました。紙上をもってお礼申し上げます。

魚道研究会が魚道清掃を実施



NPO法人 北海道魚道研究会は9月5日、松前町の及部川と支川のハタケノ沢川で道南地区では第12回目の魚道清掃ボランティア活動を実施しました。参加者は会員のほか渡島総合振興局林務課、同農村振興課、渡島西部森林室の職員など総勢79名の好意を得ました。

開会に当たり、西部森林室の小野寺室長から、「生物多様性や河川の連続性を確保するためにも欠くことのできない作業。」と活動の意義と感謝の言葉を表しました。

集合地から作業場所への移動要領を伝えられたあと、腰まで水に浸かって魚道内の土砂の撤去や流木の除去に汗を流しました。

作業終了後、流れを取り戻した河原で昼食の弁当とお茶で、しばし親睦を深めていました。

来年の実施場所は檜山地区の河川になる予定です。是非、参加を。



春の健康診断結果を踏まえて何らかのアクションを…と、健康セミナーを設けましたが、本当に参加してほしい重度の(?)有所見者2名に参加してもらえませんでした。来年の健診結果に好転が認められなかったときは、医療機関による健康指導を受けていただきますので、自己管理に努めて下さい。(え)